

いなづま

題字 小寺 寛一



紅葉の見晴公園

ご挨拶

理事長 伊東 研一

五月二十四日に開催された総会において再任され、あと二年間理事長を引き受けることになり、副理事長には玉津理事、對馬理事に留任をお願いいたしました。又今回退任されました鈴谷理事におかれましては、任期中のご苦勞に対し厚く御礼申し上げます。

新任された国仙理事には江差支部長としても、宜しくお願いいたします。また組合員、理事、監事、事務局の皆様には引き続きご協力を宜しくお願い申し上げます。昨年度の事業では、永年の懸案でありました、地下室の漏水対策や、引込線工事土運用要綱、引込線工事適正化運用要綱の改定、就業規則、職員規定の見直し等予定どおり終えることが出来ました。

決算内容については手数料収入だけで五百八十万ほどの増収になり、一般管理費の節減もあり税引き後一千五十万の利益を計上し、剰余金処分案の中では収益の内容を考慮の上また節税の観点から、昨年度と同様に二%の利用分量配当を提案いたしました。

事業計画では重点目標として総務委員会事項、事業委員会事項各々十三項目を基本方針とし、予算案は主たる手数料収入を昨年度実績比九十%、支出合計を二百万減で計上しました。

以上の内容が総会において承認を頂き、現在予定通り運営されているところです。

函館地方電気工事協同組合は創立六十五年になります。その中の四年間理事長を引き受けることになり、組合を継続的に運営する事が使命であり、責任になるものと認識しています。

継続するためには後継者の育成が重要な課題です。そのことを念頭に組合運営を考えているところです。

本年度の国の公共工事設計労務単価が発表になり、北海道の電工単価は一万六千六百円と十八%ほど増額になりました。技能労働者育成と労働市場の実勢

価格、また社会保険の法定福利費相当額が反映された
ものです。

今年の管内工事状況は十五年度開業を目指す北海道
新幹線工事や大型補正予算の好影響からか国、地方
自治体の発注物件も多く技術者の不足感がでていま
す。この様な時こそ過当競争をさけ少しでも業界が潤
うよう念願しています。

組合行事は総会、第二十一回大レクリエーショ
ン、安全大会、インターシップ受入事業、安全パト
ロール、第一五四回はこだて港まつり参加等組合員や
組合青年部のご協力をいただき今年の事業を終了して
います。厚く御礼申し上げます。

今後は益々の繁忙期をむかえますが組合員の皆様が
工事の安全を第一に無事故で更なる工事施工品質が向
上されることを念願しご挨拶とさせていただきます。

役員会だより

第一回役員会

一、慶弔報告

(株)東福電機工業代表者病氣見舞い

二五・五・七

二、貸付報告

二社八〇万円

三、各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

- (1) 組合員の異動について
- (2) 定期健康診断の実施結果について
- (3) 平成二五年電気保安功労者表彰候補の推薦に
ついて
- (4) 事務局職員の就業規則・嘱託職員規程、事業
委員会設置・運営規約について
- (5) 平成二五年度(第六五回)通常総会について
- (6) 道工組平成二五年度総代会について
- (7) 第三〇回電気工事業全国大会への参加につ
いて
- (8) 事務局長の推薦について

五、事業委員会事項

- (1) 内線工事会社研修会の開催結果について
- (2) 引込線工事士認定講習・認定試験の開催につ
いて
- (3) イルミネーション撤去工事並びに決算報告に
ついて
- (4) 第一種電気工事士定期講習の開催結果につ
いて
- (5) 北電・組合連絡協議会の開催について
- (6) 第二種電気工事士試験(学科)準備講習会に
ついて
- (7) 引込線工事士技能講習会(無墜落昇降柱法訓
練)の実施について
- (8) 北工連絡会の開催について
- (9) 函館工業高校電気科生徒のインターシップ
現場実習の受入について

六、その他

- (1) 青年部平成二四年度決算報告及び平成二五年
度予算説明について
- (2) 第二一回大レクリエーション大会について
- (3) 道工組理事長被表彰者の推薦について

第二回役員会

一、慶弔報告

(有)光進電気工業代表者逝去

二五・五・二四

鈴谷電気工業(株)代表者ご母堂逝去

(有)里見電気工事業代表者病氣見舞い

二、貸付報告

無し

三、各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

- (1) 組合員の異動について
 - (2) 平成二五年度(第六五回)通常総会の開催に
ついて
 - (3) 第二一回大レクリエーション大会の開催につ
いて
- 五、事業委員会事項
- (1) 北電・組合連絡協議会の開催について

第三回役員会

一、慶弔報告

無し

二、貸付報告

二社八〇万円

三、各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

- (1) 組合員の異動について
 - (2) 平成二五年度(第六五回)通常総会の開催結
果について
 - (3) 役員の担当業務について
 - (4) 退任役員の慰労金の支出について
 - (5) 事務局職員の夏季賞与の支給について
- 五、事業委員会事項
- (1) 第二種電気工事士試験(学科)受験準備講習
会の開催結果について
 - (2) 引込線工事士安全技能講習(無墜落昇降柱法
訓練)の実施結果について
 - (3) 安全大会の開催について
 - (4) 第二種電気工事士試験(技能)受験準備講習
会の開催について
 - (5) 港まつりへの参加について

二五・六・一三

第四回役員会

一、慶弔報告

(有)ヤマト電気工業所代表者ご母堂逝去

二五・八・二二

二、貸付報告

無し

三、各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

- (1) 第二一回大レクリエーション大会の開催結果
について
- (2) インターシップの実施結果について
- (3) 全日電工連全国大会の参加について
- (4) 平成二五年度年末特別融資の案内について
- (5) 総務委員会・事業委員会委員の推薦について
- (6) 「いなづま」第一三四号の発行について

五、事業委員会事項

- (1) 検満安全パトロールの実施について
- (2) 安全大会の開催結果について
- (3) 第二種電気工事士試験（技能）準備講習会開催結果について
- (4) 港まつりの参加結果について
- (5) 第一種電気工事士試験（筆記）受験準備講習会の開催について

組合行事

- 3月26日 渡島総合振興局による電気工事業法立入検査（函館市一社・森町一社）
- 28日 西部支部会議
- 4月2日 渡島支部会議
- 4日 イルミネーション撤去工事
- 5日 検満業者打合せ会議
- 11日 第一種電気工事士定期講習（ロワジュール館Ⅱ六三名参加）
- 13日 東部支部研修旅行（東京方面）西部支部研修旅行（東京・神奈川方面）
- 14日 街路灯維持管理業務説明会（組合会議室Ⅱ二五社出席）
- 15日 道工業組合役員会に伊東理事長・玉津副理事長出席（道電気会館）
- 16日 定期健康診断（組合Ⅱ二五三名受診）
- 18日 北海道電気工事業厚生年金基金説明会（組合会議室Ⅱ二三名出席）
- 19日 正副理事長・事務局長打合せ会議
- 20日 労働保険更新手続（組合会議室）
- 21日 正副理事長・総務委員会合同会議（組合会議室）
- 22日 組合期末監査
- 23日 総務委員会・事業委員会
- 24日 第一回役員会
- 25日 道工業組合監査に玉津副理事長出席（道電気会館）

- 10日 気会館）検満業者打合せ会議
- 13日 道工業組合役員会に伊東理事長・玉津副理事長出席（道電気会館）
- 16日 北電・組合引込線工事士等運営協議会（組合会議室Ⅱ北電四名・組合八名出席）
- 20日 西部支部会議
- 21日 北部支部会議
- 22日 計測器箱・板修繕業務業者打合せ会議
- 23日 第二回役員会
- 24日 第六五回通常総会（五六名出席）
- 25日 青年部総会（ホテルテトラ）
- 27日 レクリエーション担当特別委員会
- 28日 第二種電気工事士試験（学科）受験準備講習会（組合会議室Ⅱ二〇名受講）
- 31日 道工業組合通常総代会に役員一二人・奥村事務局長出席（東京ドームホテル札幌）
- 5日 検満業者打合せ会議
- 6日 北部支部会議
- 7日 青年部大レクリエーション打合せ会議
- 12日 二級引込線工事士安全技能講習（北電資材管理所跡地Ⅱ七三名出席）
- 13日 総務委員会・事業委員会
- 14日 第三回役員会
- 15日 北工連絡会（組合会議室Ⅱ北電九名・組合二〇名出席）
- 16日 港まつり「ワッショイはこだて」事前説明会に奥村事務局長・伊藤主任出席（サンリフレ）
- 21日 正副理事長・事業委員会合同会議（組合会議室）
- 26日 東部支部会議
- 30日 第二一回大レクリエーション大会（グリーンピア大沼Ⅱ三一七名参加）
- 7月2日 検満業者打合せ会議
- 3日 函館工業高校インターンシップ安全講習・

- 4日 知内発電所見学（工業高校四〇名）
- 5日 函館工業高校インターンシップ現場実習（二四事業所四〇名）
- 8日 港まつり責任者会議に奥村事務局長・伊藤主任出席（サンリフレ）
- 9日 正副理事長・事務局長打合せ会議
- 16日 北電・組合合同安全パトロール（北電二名・組合一五名）
- 17日 事業委員会
- 18日 港まつり担当特別委員会
- 19日 北部支部会議
- 20日 西部支部会議
- 21日 渡島支部会議
- 22日 安全大会（組合会議室Ⅱ一八名参加）
- 23日 八雲支部安全大会（北電八雲営業所Ⅱ二一名参加）
- 24日 八雲支部二級引込線工事士安全技能講習（館脇電気事務所Ⅱ二五名受講）
- 25日 道工業組合臨時役員会に伊東理事長・玉津副理事長出席（道電気会館）
- 26日 第二種電気工事士試験（技能）受験準備講習会（組合会議室Ⅱ一六名受講）
- 27日 電気保安功労者表彰受賞者祝賀会
- 28日 福島支部安全大会（北電福島営業所Ⅱ一〇名参加）
- 29日 江差支部安全大会（北電江差営業所Ⅱ二〇名参加）
- 30日 江差支部二級引込線工事士安全技能講習（北電江差営業所Ⅱ一〇名受講）
- 8月2日 函館港まつりワッショイはこだて（二〇一名参加）
- 22日 総務委員会・事業委員会
- 23日 第四回役員会
- 24日 いなづま打合せ会議
- 25日 正副理事長・青年部正副部長懇談会
- 26日 函館市防災訓練に伊東理事長出席
- 27日 検満業者打合せ会議
- 28日 いなづま編集会議
- 9月2日 ロードヒーティング保守管理業務打合せ

第六十五回 通常総会開催

平成二十五年度第六十五回通常総会が五月二十四日(金)、組合会館大会議室において組合員定数百九十五名中本人出席五六名、委任状出席百二十七名で開催された。

奥村事務局長が午後一時三十分に関会を宣言。冒頭伊東理事長が挨拶をし、新幹線関連工事や公共投資の増加が見込まれるが、このような時こそ過当競争をさけて業界全体が潤わなければならないと挨拶をした。続いて議長の選出に移り、指名推薦により北部支部の土谷禎宏氏(日東電気工事(株))が選出され議事の審議に入った。

第一号議案

平成二四年度事業報告、財産目録、賃借対照表、損益計算書及び余剰金処分(案)について
事務局にて内容説明の後、原案通り可決決定

第二号議案

平成二五年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
事務局にて内容説明の後、原案通り可決決定

第三号議案

平成二五年度役員報酬について
事務局にて内容説明の後、原案通り可決決定

第四号議案

平成二五年度組合借入金残高の最高限度額の決定について
事務局にて内容説明の後、原案通り可決決定

第五号議案

平成二十五年度一組員に対する貸付け(手



形の割引を含む。)又は一組員のためにする債務保証の最高限度額の決定について
事務局にて内容説明の後、原案通り可決決定

第六号議案

任期満了に伴う理事及び監事の改選について
議長は、改選の方法について議場に意見を諮ったところ、事務局一任の声があり、事務局原案として指名推薦の方法を提示し、指名委員の選任を行い選考に入り、理事十二名、監事二名の選任を行い、承認を得て可決決定した。

第七号議案

北海道電気工業業組合総代及び推薦委員の選出について
事務局より理事会の一任願いたいとの提案があり、原案通り可決決定

第八号議案

本日の決議中、その本旨に反せざる字句の訂正を議長に一任することについて
事務局にて内容説明の後、原案通り可決決定

以上、すべての議案について原案通り可決し、午後三時二〇分、議長は閉会を宣言し平成二十五年度の通常総会は終了した。

通常総会終了後、臨時理事会が開催され、選任された理事の中から理事長にユタカ電機(株)伊東研一氏が再選され、組合の存続が一番の使命、そのためにも後継者育成に尽力すると決意表明した。

また、副理事長にタマツ電機工業(株)玉津真史氏、(株)対馬電設対馬豊四郎氏の続投が決定し、江差支部長を務めた鈴谷電気工業(株)鈴谷満紀氏が退任され、後任に(株)松山電気工業國仙勝彦氏が選出され新体制が発足した。



函館工業高校電気科生徒 インターンシップ現場実習受け入れ

本年度も、函館工業高校より当組合に対し、電気科生徒のインターンシップ受入要請があり、七月三日〜五日に電気科生徒四〇名で実施されました。当組合としても業界の将来の人材育成に協力するため組合員に対し受入要請したところ、十四事業所から協力の申入がありました。

初日は、当組合の三階大会議室において伊東理事長の挨拶の後、対馬副理事長よりヘルメット・服装等のチェック並びに現場での諸注意を含めた安全講話をしていただきました。その後は知内火力発電所に移動し設備見学、知内発電所職員五名に対して質疑応答などを行いました。二・三日目は組合員工事会社全十四事業所に二〜五名で分かれて各現場にて実習を行いました。今年度は当組合事務局でも三名受入をし、引込資材の受払や書類の整理など事務局の業務について現場実習を行いました。

私たちはこのインターンシップを続けていくことで当業界の人材育成に繋がることを願っています。

最後にお忙しい中このインターンシップにご協力頂いた組合員の皆様に深く感謝申し上げます。



ご協力を頂いた組合員

- 大倉電気(株)
- 榊電工業(株)
- 協同電気通信(株)
- 佐藤電気工事(株)
- (株)サントウ工業
- (株)新宮電気設備
- タマツ電機工業(株)
- (株)対馬電設
- (株)電気企画工業
- 日興電気(株)
- (株)深田電気
- 北海電気工事(株)函館支店
- ユタカ電機(株)

新役員紹介



理事 (福島支部長)
繁田 一義
昭和十九年十二月生
株式会社繁田電工
代表取締役



理事
平沼 冠三
昭和二十四年九月生
権電工業株式会社
代表取締役



副理事長
對馬 豊四郎
昭和三十年三月生
株式会社対馬電設
代表取締役



副理事長 (西部支部長)
玉津 眞史
昭和二十六年五月生
タマツ電機工業株式会社
代表取締役



理事長
伊東 研一
昭和二十二年一月生
ユタカ電機株式会社
代表取締役



理事 (東部支部長)
伊東 照勝
昭和三十五年二月生
有限会社丸伊イトウ電気商会
代表取締役



理事 (北部支部長)
大谷 治身
昭和二十六年四月生
株式会社平松電気工務所
代表取締役



理事
大倉 直
昭和三十五年二月生
大倉電気株式会社
代表取締役



理事 (渡島支部長)
吉田 好
昭和三十四年十二月生
株式会社谷電気工業所
代表取締役



理事
坪 光雄
昭和十七年九月生
ツボ電設工業
代表者



理事 (八雲支部長)
館脇 渉
昭和十九年十月生
館脇電気工業株式会社
代表取締役



顧問
佐藤 征次
昭和十三年九月生
佐藤電気工事株式会社
代表取締役



顧問
吉田 要
昭和三年八月生
函館拓北電業株式会社
代表取締役



監事
矢本 里美
昭和二十七年五月生
有限会社里見電気工事
代表取締役



監事
江端 奨
昭和二十六年二月生
有限会社ヤマト電気工業所
代表取締役



理事 (江差支部長)
國仙 勝彦
昭和三十一年二月生
㈱松山電気工業
代表取締役



第二十一回 大レクリエーション大会

「第二十一回 大レクリエーション大会」は今年も例年より早く六月三十日(日)にグリーンピア大沼で開催されました。朝方は曇空で少々肌寒い天気でしたが、徐々に青空になり気温も多少上がって良きレクリエーション日和となりました。組合員、家族、北電、電材関係の参加者は三十七名となり、今年も大いに盛り上がり楽しい一日となりました。

定刻通り、中野青年部長の開会宣言、大会長の伊東理事長の挨拶、来賓の北海道電力(株)函館支店 梅澤営業部長、井田範行函館市議会議員の挨拶を頂いた後、全員でラジオ体操を行い身体をほぐした後、いよいよ競技の開始となりました。

最初のジャンケン大会では最後まで子供さんが勝ち残り、決勝でも大人の方が勝ちを譲る微笑ましい結果となりました。次に主要競技でもある各支部対抗の綱引き一回戦が行われ、今年は三本目までもつれる熱戦が多く、昨年優勝の渡島支部、準優勝の北部支部が早々と敗れる波乱の幕開けとなりました。又、急遽青年部チームが参入し東部支部との勝負になりましたが東部支部が親父の貫禄を示し二対一の激戦を制し、電材、西部、合同(江差、八雲、福島)と共に準決勝に進みました。綱引きの後は、子供さん中心の玉入れ、女性の参加者が多い借物ゲームと続き、午前最後の競技である〇×クイズを楽しんだ後、昼食タイムとなりました。

その間も青年部を中心に焼き鳥、焼そば等の食事の用意や緑日の運営に精を出して頂き有難うございました。



その後、女性対象の椅子取りゲームでは綱引きの疲れも見せず多数の方が参加され、いつもながらの駆け引きの妙とパワーの炸裂が笑いを誘い、大いに盛り上がりました。続いて大会のメインイベントである綱引きの決勝が行われ、電材チームと合同チームの白熱した激戦が展開され、最後は江差支部を中心とした合同チームが勝ち、優勝の栄冠に輝きました。また、初めて決勝進出した電材チームの健闘も素晴らしいものでした。綱引き決勝の余韻が残る中、プログラム最後の大会抽選会が行われ、いつもながらの歓声と溜息に包まれながら全競技を終了致しました。

閉会式に移り、綱引きの表彰の後、大会委員長の玉津副理事長より、北海道電力(株)、電材各社、メーカー、その他協賛して頂いた関係各位に対しお礼と、青年部に対する労いの言葉が述べられ、その後全員で後片づけと清掃を行い、今年の大レクリエーションも無事終了となりました。(平沼)



電気工事業法に基づく立入検査

電気工事業法に基づく立入検査が渡島総合振興局により、又、二十三年度から北斗市の業者については北斗市において実施されることになり、一月二十九日から三月二十六日にかけての延べ六日間、二十二事業所を対象に実施されました。

今回は法定の項目から著しく逸脱した指摘を受けた事業所は見受けられず、アドバイザー的な指導のみに終始するケースがほとんどで、概ね良好な事業所運営がなされていきました。

今後、各組合員におかれましても、適法・適正な運営を心掛けていただけるようお願い申し上げます。

標識	指摘事項	件数
店舗用標識が提示されていない		0
店舗用標識の掲示場所が不適当である		0
店舗用標識の種類が間違っている		0
登録・届出番号の記載なし及び記載誤り		4
登録・届出の年月日の記載なし及び記載誤り		0
氏名又は名称の記載なし及び記載誤り		0
代表者の氏名の記載なし及び記載誤り		0
営業所の名称の記載なし及び記載誤り		0
電気工事の種類記載なし及び記載誤り		0
主任電気工事士の記載なし及び記載誤り		2
電気工事整理簿		0
備え付けなし		0
注文者の氏名又は名称及び住所の記載なし		0
電気工事の種類及び施工場所の記載なし		0
施工年月日の記載なし又は整合性が取れていない		0
主任電気工事士の記載なし及び記載誤り		0
配線図・検査結果		0
過去五年分の全部又は一部の保存なし		1
保存状況が悪い		1
器具の備付		0
必置器具類が現場にあるため確認できない		0
試験装置のリース契約を更新していない		0
登録等		0
変更事項等の事務手続きを行っていない		0
業務		0
無資格者を作業者させている		0
電気用品安全法に準じていない電気用品の使用		0
その他		0
免状等紛失又は確認できない		0
第一種電気工事士定期講習を受講していない		0
計		8

平成二十五年度安全大会

八月から始まる「電気使用安全月間」に先立ち、本年度の安全大会が当組合管内四箇所で開催された。函館地区では七月二十二日、組合大会議室において開催され、組合員及びその社員一八名が参加した。伊東理事長が「これから繁忙期を迎えるので、各現場で安全活動をしつかり実施して欲しい」と挨拶。



来賓の水永浩明北電函館支店配電グループリーダーは、「一人一人が意識を高め、安全第一、品質第二、製造第三の順序で作業を進め、ゼロ災害を」と呼びかけた。

安全講話では、函館市総務部防災担当主査の金指真弓氏が津波ハザードマップ作製や意識向上施策など市の防災対策を解説、又、北電函館支店配電グループ副長の市岡勝弘氏からは事故事例及びリスクアセスメントについて、それぞれ興味をそそる話題を交えながら講演された。

最後に青年部の矢本剛氏(栴里見電気工事)が安全宣言を行い閉会した。又、八雲支部は七月二十三日(二十一名)、福島支部は七月二十九日(十名)、江差支部は七月三十日(二十名)が出席して各北海道電力営業所において開催された。



第二種電気工事士試験 受験準備講習会

平成二十五年度の第二種電気工事士試験の筆記試験に先立ち、恒例の受験準備講習会を左記の通り学科講習を四日間、技能講習を二日間開催しました。



◎筆記試験講習 日程&講師 五月二十八日(火)~三十一日(金)

午後	配電理論 配線設計 (富樫)	配線材料・ 配線用工具 (中田)	施工法・ 鑑別 (酒井)	選別・ 練習問題 (酒井)
午前	電気理論 (奥山)	電気機器 (富樫)	検査・法令 (中田)	配電図 (中田)

◎技能試験講習 日程&講師 七月二十四~二十五日

二十四日(水)	二十五日(木)
単位作業(対馬・吉田・大谷・伊東・酒井)	

試験は上期と下期に分けて行われ、講習受講者のうち、上期筆記試験(六月二日実施)の受験者は二〇名で、合格者は九名合格率は四十五%(全国平均六二・九%)。上期技能試験(七月二十七日実施)の受験者は一六名で、合格者は十名、合格率は六三%(全国平均七八・二%)でした。

なお下期日程は筆記試験が十月五日、技能試験が十二月七日に実施されます。講師の皆様には大変ご多用の中ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

講師各位
酒井 好一氏 (三立電気(株))
中田 進氏
奥山 正雄氏 (社北海道電気管理技術者協会)
富樫 伸也氏 (社北海道電気管理技術者協会)
対馬 豊四郎氏 (株対馬電設)
大谷 治身氏 (株平松電気工務所)
伊東 照勝氏 (有丸伊イトウ電気商会)
吉田 好氏 (株谷電気工業所)



北電・組合合同 安全パトロール

平成二十五年七月十六日、北電函館支店・組合合同安全パトロールを実施しました。

北電二名・組合三名函館市千歳町の低圧検満工事現場をパトロールし、検満工事現場において工事施工するにあたって問題点はないか、また、確認するべき点を怠ったりしていないか等を検満工事会社六社に対して細かくチェックを行いました。パトロール終了後は、組合事務局二階会議室にてパトロール結果について北電配電G、検満工事会社、組合で意見交換会が行われ、参加者全員でより質の高い工事施工を目指し、議論が行われました。良かった点や改善すべき点など様々意見が出され、有意義な意見交換となりました。今回の安全パトロールにご参加頂いた北電函館支店配電Gの方々には、お忙しい中ご協力頂き深く感謝申し上げます。

なお、組合では検満工事における事故を少しでも減らすため、これからも安全パトロールを実施致します。組合員の皆様におかれましては、適切な工事並びに安全管理体制の再確認をよろしくお願い致します。

函館港まつり 「ワッショイはいっだて」



開港154周年記念函館港まつりが、八月一日から五日まで開催された。

今年はGLAYの緑の島ライブが直前の七月二十七、二十八日に、また八月一日に函館港で海上運行された青森ねぶたも登場して例年にも増して盛り上がった港まつりになった。

当組合も八月二日の「ワッショイはこだて」十字街・松風コースに二十五年連続の恒例の電線マン音頭での参加となりました。一週間前から天候不順でパレードの開催を心配していたのですが、八月一日の花火大会から当日も雲一つ無い最高の天気にも恵まれました。

当日午後五時、集合場所となった末広町に法被を羽織った組合員、組合関係者、すっかり顔なじみになった渡島コロニー関係者、又、篇篇タイムの新人電線マン、もうすっかりベテランのベンジャミン矢本青年部副部長、見た目はかわいいが重装備で一番大変な巨大雀、去年から友情参加の太鼓のおじさん（今年には衣装を新調してくれました。）などなど総勢約百名（いままでも一番参加人数が少なくいつも見慣れた顔が見られなかったのは少しさみしい。）が集合しておにぎり、ビール、日本酒などで腹ごしらえと、喉をうるおし、準備万端です。

六時、電線マンを先頭にいざ出発してみると、電線マンが踊らず困惑しているの、聞いてみると初めてで躍りかたを知らないという電線マンが何人かいてちよつと焦りました。

それでもさすが若人電線マン、すぐに躍りを覚え十字街から魚市場通りに出た頃にはすっかりいつものペースになっていました。

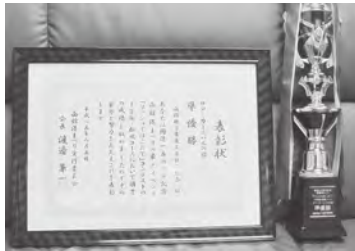


市役所前、函館駅前と行進するほど、観客の数も増え、電線マンの躍りも一段と元気になり、ベンジャミン矢本の「ガンバッター」のかけ声で組合電線マン軍団もヨサコイに負けないくらい、ヒートアップしていきます。

いよいよ最後の大門広小路のメインステージの大観衆の前に突入するとアナウンサーの「おなじみの函館電気工事組合、電線マン音頭です。」との紹介で躍りも興奮で最高潮となった、祇園通り前でゴールとなった。その後直会会場のホテル函館ロイヤルに移動した。打上げではまず、伊東理事長の乾杯で始まり、躍りでも行われ、おおいに盛り上がり、最後は対馬副理事長のお開きの乾杯で終了した。

八月四日発表のコンテストの結果「サマーカーニバルの部・準優勝」を受賞。パレードに参加して二十五年、一番の榮譽に輝きました。翌日の表彰式には対馬副理事長が、出席し、トロフィーと賞状を受け取りました。

山車の制作に協力していただいた皆様を始め、パレードを盛り上げてくれた青年部の皆様、組合員の皆様、協賛問屋、メーカー各社に対し、厚く御礼申し上げます。（大倉）



二級引込線工事士安全技能講習

北電の認定により、低圧引込線工事及び低圧計測器工事が施工できる資格である二級引込線工事士の安全技能講習が、六月一二日に北電資材管理所跡地で実施され、組合員事業所の従業者七十三名が学科講習と模擬電柱を使用しての実技訓練を受講しました。

又、八雲支部（二十五名受講）、江差支部（一〇名受講）においても、北電営業所の協力を得て二級安全技能講習を実施しました。

ご多用の中、講師を務めて下さいました北電函館支店及び各営業所配電グループの皆様には紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

◎引込線工事士制度についての注意

●引込線工事士の認定は、発行日より満五年を迎える年末までの期間有効であり、その期間内に安全技能講習を受講しなければ失効します。

●引込線工事士が入退社した場合には「引込線工事士異動届」を速やかに組合事務局まで提出ください。

●引込線工事士要綱及び施工会社認定要綱が九月一日より改定となり、九月一日付けより引込線・計測器認定が施行されています。



青年部長就任にあたり

函館地方電気工事協同組合 青年部
部長 中野 英

今期より青年部の部長という大役を仰せつかりました(株)中電設工事の中野 英(すぐる)と申します。ご挨拶と青年部についてご紹介をさせて頂きたいと思っております。

今年度は、我々函電協青年部が創部三十周年を迎える年であり、また歴代の部長の十代目にあたり、非常に重責を担う節目の年であります。

正直、私のような若輩者がこのような大役をお受けしてよいものかと躊躇いたしました。青年部を卒業された先輩や継続して役員を引き受けて頂くことになった方々からの強い推薦と、副部長を引き受けてくださることとなった三名からも、より一層の協力体制を確約して頂き、真剣に悩んだ末に「決心」し引き受けることと致しました。

今後も部員が自発的、積極的に参加してくれるような「魅力ある青年部活動」の運営を先頭にたつていく所存ですので、親組合の方々を始めとする組合員の皆様方におかれましては、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

青年部の活動紹介をさせていただきます。現在青年部は四十四名の部員にて活動しています。

理事役員は部長以下十名と今迄の函電協青年部の運営上、最も多い人数にて運営を行っており、私の至らない部分もきめ細かくフォローして頂き心強い限りであります。

青年部役員は役割の明確化と作業の分担、また各個人への負担の軽減を考慮し総務担当委員会と事業担当委員会という二つの委員会に分かれ、その実働として一般部員の方にもお手伝い頂きながら事業を行います。

これまでに委員会にて企画立案、実行した青年部独自の事業と致しまして、自己研鑽及び技術向上のためにメーカー技術員や環境問題研究家を講師に招いて、太陽光発電設備や風力発電設備などの自然エネルギーに関する研修会を開催したほか、施設見学研修と致しまして太平洋セメント上磯工場様に御協力を頂き、施設内部にあるセメント生成時に発生する排熱を再利用した発電設備等を間近に見ることが出来、部員の方から大変好評を得ました。

また、社会奉仕活動としては函館市港湾部の街路灯の清掃活動のボランティアを平成二十三年より継続して行っており建設新聞に掲載されています。部員相互のコミュニケーションを図る目的で親睦事業を行っており、近年では家族参加型の花見会の開催のほか、ボーリング大会等を企画しております。

これらの継続事業の他に随時、役員会で議論を活発に行い、部員の皆さんのためになる情報や交流の場を設け、今期の全日青年部協議会の事業計画にもある『青年部らしいスピード感のある組織作り』を目指し頑張つて参ります。

我々青年部は、「親組合あつての青年部」という事を再認識し、後継者育成を第一に考える伊東理事長のもと、次世代を担う人材となれるよう親組合への積極的な関与をしていきたいと考えております。また、この函館

が活性化する一役を担う青年団体として広く大きく何事にもチャレンジする気持ちを持って今後とも活動して参りますので、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

青年部に望まれる役割とは組織人、業界人の人材の養成に



あると思います。

組合青年部という組織を通じて、人を知り、経営を知り、組織を知ることが日々の業務だけでは到底学ぶことのできない人格育成の場であると考えます。そのため青年部結成の目的を部員に示し、活動のメリツト、魅力を伝え、その目的に沿った事業を継続して行うことが必要です。

若者らしい自由な試みや新しいことにチャレンジをし、電気工事業界発展のために何をすべきか、後継者として何を考えるべきか、諸先輩方の経験と知恵に学び、親会との連携を図りながら、様々な場面で直面する問題の改善に努め、組合事業に貢献して行きたいと思ひます。

また、業界における青年層が寄り易い雰囲気づくりの場としても青年部の活動にご理解、ご協力いただきたいと思います。宜しくお願いいたします。

青年部活動報告

総務委員会担当委員長

副部長 松橋 芳一

平成二十五年五月二十五日に開催されました総会の役員改選を経て、新しい役員体制になり、青年部として「総務委員会」と「事業委員会」の二つの委員会構成で、今後の活動をしていくこととなりました。

今後はこの二つの委員会に属している各部員の皆様のご協力を得ながら青年部活動を今まで以上に活発に行つていきたいと考えています。

大レクリエーションや港まつりなど親組合事業への協力を行つて来ましたが、今後も親組合理事の方々との連携を強化し、より多くの機会に青年部の活動する姿をお見せしたいと考えています。

また、青年部独自の活動として二年前から始めました「ボランティア活動」の実施について、今年度

からは幅広い活動を目的としてボランティア情報誌『ボラット』への当青年部の活動内容登録をし、多くの皆様からのボランティア活動のニーズを吸収しながら電気工事協同組合青年部がより認知されるよう活動していきたいと考えています。

更に、地域活性化のために函館港まつりの協賛イベントである「ペリーボート競艇競漕」に役員だけで試験的に参加しましたが、多くの声援を受け有意義な青年部活動が出来、部員相互のコミュニケーションも図ることが出来ました。次年度以降は、一般の青年部員に多く参加して頂き、今以上の一体感をもって楽しみに共有できる活動を行っていきたくと考えています。

今年度は「青年部創立三十周年」の記念の年ということで、九月二十八日には記念式典を開催する事が決定しており、現在その準備の真最中です。

歴代青年部長及びOBの方々の御努力のおかげで、当組合青年部員も四十四名を数え道内三番目の規模を誇っております。歴史ある街、函館にある電気工事協同組合青年部にまた一つ大きな足跡を残すことが出来た事に加えて重大な責任があるものと感じながら、三十年という長き伝統を継承しつつ新たなチャレンジを行い活動して参りたいと思っておりますので、皆さまのご支援をお願いして報告とさせていただきます。



組合支部だより

東部支部研修旅行

東部支部では四月十三日、十四日に平成二十二年末に支部再編成後初めて、東部支部員三十六名中、十二名と組合事務局より伊藤主任に参加していただき、合計一三名で東京スカイツリー見学を目的に東京方面へ研修旅行を行いました。

旅行当日は函館空港へ八時に集合し、九時の飛行機にて東京へ出発です。羽田空港到着後すぐ京急電車で浅草へ移動。電車での移動中、どこで昼食をとるかスマートフォンで探していましたが結局地下鉄駅を出てすぐの和食料理店にてあなご料理を食べることにしました。

昼食後、仲見世通りを見学した後、浅草寺を参拝しましたが、外国観光客が多い印象でした。

浅草にて一時間の自由行動の後、近くに見えた東京スカイツリーまで三十分歩いてやっと十四時ころ到着しました。十五時三十分に見学の予約をしていたのでしばし休憩、支部員に皆さまにお土産を購入しつつ時間をとりました。

東京スカイツリーについて概要ですが、空に向かって伸びる大きな木をイメージして、シ



ルエットは、伝統的日本建築などにみられる「そりや「むくり」を意識して建てられ、タワーの足元は三角形となっており、圧迫感の低減や日影等の影響にも配慮し、頂部に向けて円形へと変化し、見る角度や眺める場所によって多様な表情を持っています。また六三・四mという高さは、昔武蔵国だったため、当初の計画では六百十mだったものを変更し、世界一の自立電波塔になりました。

部材として「高強度鋼管」という、標準的な鉄骨よりも約二倍強い鉄を使用しタワー足元の鋼管は、直径二・三m、厚さ十cmという巨大なものです。照明については千九百九十五台の照明器具を光ファイバーによるデジタル制御方式でコントロールする高度なLED演出システムあり《粹・雅》展望台上部の時計光（一周二秒）がついてきます。今度夜にゆっくり見たいものだと思います。

見学の受付も終わり、分速六百mのエレベータ（五十秒）で三百五十m展望デッキに到着、すぐ四百五十mの展望回廊へ。

さすがに高い、ガラスで覆われた空中回廊を一回りビルが小さく見え、少しガスがかかっていたようですが関東一円を大パノラマが見ることができました。静かに揺れがあり酔っている感覚でした。休日ということもあり、大混雑で一般受付のエレベータは、四時間待ちだったそうです。スカイツリー見学も無事終了し、タクシーにて新宿の宿泊先であるワシントンホテルへ到着、チェックイン後すぐに予約してある居酒屋へ、三・四〇〇円飲み放題、前菜のキャベツに始まりキャベツのもつ鍋で終わるヘルシーな宴会でした。一日歩き疲れましたが、宴会になると盛り上がる支部員、一次会終了後、二次会を経ても、皆さんまだまだ元気です。みんなで夜食を食べてホテルへ戻り、一日目の終了となりました。

二日目は、はとバスツアーにて靖国神社と国会議

事堂見学です。ホテルから東京駅へ移動し、十時出発のはとバスに乗り、皇居周辺を見ながら靖国神社へ。靖国神社では境内を掃除していた団体を横目で通過し、参拝をして次の目的地国会議事堂へ。国会議事堂では、はとバス専用の広報職員に案内され見学しました。最初は、衆議院本会議場です。彫刻をふんだんに取り入れた柱や壁、巨大なステンドグラス、大会議場の大空間に圧倒されます。次は天皇陛下の御休所を見学。国会開会当日にはここにお入りになるそうです。総檜作りの総漆塗り入口ドアは一枚大理石をくり貫いたもの、当時の建築、工芸の粋を集めて作られた部屋で国会議事堂の建築予算の十分の一が使われたそうです。

一時間の見学も終わり、正面入り口にて集合写真を撮影し、東京駅まで戻ってはとバスツアー終了です。

昼食場所を検討しつつ、駅裏の新しいKITTEビルに行きましたが大混雑で、待てない函館人は結局品川まで移動して食事、やっとゆつくりできました。その後十六時には羽田空港につき、無事に函館へ到着となりました。

二日間は天候もよく、見学は何かと移動も多く行く先々で混雑ばかりでせわしない旅行でしたが、有意義な研修旅行となったと思います。支部編成後初めて企画しましたが、参加者の方々大変お疲れ様でした。

東部支部支部長 伊東照勝

西部支部研修旅行

平成二十三年一月一日「新支部体制への移行」に伴い発足した、西部支部の初めての研修旅行を、四月十三日から十四日の二日間、箱根、東京方面で十四名の参加で実施いたしました。一日目は羽田空港到着後、バスにて横浜中華街へ向かい、元中国国家主席江沢民の主席専用料理人として、腕を振るった王永祥氏の店で、「フカひれコース」の料理を満喫し、乾いたのどをビールで癒

しました。その後、神奈川県足柄にあるアサヒビール工場を見学し、ビールの歴史、製造過程など、ガイドの説明に耳を傾けた。ここでも三種類の出来立てのビールを試飲し、とても美味しかった。次に芦ノ湖に向かったが、夕暮れのため観光時間がなく、また曇りのため富士山を見ることができず、湖畔で記念撮影をして箱根湯本温泉、湯本富士屋ホテルに到着した。露天風呂で疲れを流し、夜の宴会では時間の経つうちに酒量も上がり、大いに盛り上がり終了した。二日目 朝ホテルを出発し、戦国時代から江戸時代にかけての平山城で、北条氏の本拠地として有名であり、江戸時代には藩の藩庁があった、国の史跡に指定されている小田原城を見学した。次に昼食を、東京の老舗「駒方どぜう浅草本店」にて柳川定食を満喫した。その後、浅草駅まで徒歩で移動し、東武鉄道にてスカイツリー駅に到着した。当日は、強風により残念ながらスカイツリーに上ることが出来なかった。初めての参加者は大変ガツカリしましたが、雰囲気だけを思い出に次の機会を楽しみにしてください。その後、新しくなった東京駅舎を見学し、東京ゲートブリッジを通り羽田空港へ到着し、函館への帰路について。

今回の旅行の目玉である、スカイツリーからの素晴らしい眺望を期待していましたが、大変残念です。忙しい中参加していただいた支部員の皆様にはここから感謝いたします。

西部支部支部長 玉津 眞史



電気保安功労者の表彰

◎北海道産業保安監督部長表彰



(営業所の部)
㈱繁田電工

繁田 一 義氏

◎北海道安全委員長表彰



(営業所の部)
㈱対馬電設

対馬 豊四郎氏

去る七月二十五日、㈱繁田電工、㈱対馬電設が札幌市の共済ホールにて開催された北海道電気安全大会において表彰されました。

これは電気保安の確保に功績のあった企業・個人を表彰するもので、受賞者の方々のこれまでの努力に深く敬意を表するとともに、心からお祝いを申し上げます。

組合員の異動

◎脱退

- 一、(有)立花電気商会 平成二十五年四月二十日
- 一、カサバ通信電気 平成二十五年五月二十日
- 一、汐谷電機工業 平成二十五年五月三十一日

組合員の消息

- 平成二十五年
- 五月十二日 (有)光進電気工業代表者高橋敏雄殿逝去
 - 五月十六日 鈴谷電気工業(株)代表者ご母堂 鈴谷イソ殿逝去
 - 八月一日 (有)ヤマト電気工業所代表者ご母堂 江端みどり殿逝去

第一種電気工事士定期講習

電気工事士法第四条の三の規定による第一種電気工事士定期講習が、電気協会の主催により、平成二十五年四月十一日(六十三名受講)にロワジュールホテル函館において開催されました。

ご承知の通り、第一種電気工事士は五年毎の定期講習が義務付けられており、受講しない場合は法律に違反することになり、電気工事士法第四条六項の規定により免状の返納を命ぜられることがありますので、必ず受講するようにご注意ください。

また、四月から制度の変更により、一般財団法人電気工事技術講習センターから講習の案内が送付されますが、それ以外の方は、各自でご登録頂かなければ今後、講習の案内が送付されませんのでご注意ください。登録がお済みでない方はお早めに登録ください。

委員会構成について

さる六月十三日に第三回役員会、八月二十二日に第四回役員会が組合会議室において開催され、役員の出当業務及び総務委員会・事業委員会の推薦についての議案が承認されました。これは後継者育成を目的として現在の委員会構成員を増員し、組織強化を図ることを目的としたものです。新総務委員・事業委員に就任されました皆さまへは組合活動において一層のご協力をお願い申し上げます。

総務委員会

委員長 タマツ電機工業(株) 玉津 眞史氏
副委員長 大倉電気(株) 大倉 直氏
委員 樺電工業(株) 平沼 冠三氏
ツボ電設工業 坪 光雄氏
館脇電気工業(株) 館脇 渉氏

新委員

(株)ふじでん 佐藤 賢治氏
(株)中電設工事 中野 英氏
日東電気工事(株) 土谷 禎宏氏

事業委員会

委員長 (株)対馬電設 對馬豊四郎氏
副委員長 (株)谷電気工業所 吉田 好氏

委員

(株)繁田電工 繁田 一義氏
(株)平松電気工務所 大谷 治身氏
(株)丸伊イトウ電気商会 伊東 照勝氏

新委員

(株)松山電気工業 國仙 勝彦氏
(株)進成電機機械工業所 高井 秀昭氏
加賀電気(株) 加賀 広一氏
(株)日光電気 久保 勝義氏
(株)奥電機工業 奥 善次氏
(株)深田電気 三田村 孝氏

就任ご挨拶



北海道電力(株)函館支店
理事支店長
今野 満

七月一日付で北海道電力函館支店長として着任いたしました。歴史と伝統ある地域を所管することとなり、身の引き締まる思いであります。

弊社は九月一日から電気料金を値上げさせていただきました。泊発電所の長期停止により火力発電所の燃料費負担が増大したことが大きな要因ですが、皆様には多大なご負担をおかけいたします。昨年の夏以来、節電等に多大のご協力を頂きながら、誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。

弊社といたしましては、たゆまぬ経営効率化に努めるとともに、財政基盤の回復に大きな役割を果たす泊発電所の早期発電再開に全力で取り組む所存であります。

さて、当支店に着任して二ヶ月余りが過ぎました。函館は初めて勤務する街です。漁火通りに面した我が住まいからは津軽海峡が目前に広がって見えます。好天の日には「下北半島が姿を現します。」「函館の人は札幌ではなく内地を向いている」という言葉が腑に落ちました。耳元でざわめく潮騒の音と共に眠りにつき、海鳴りの音で目覚めることがあります。その数を重ねるごとに、少しずつですが函館の住人になりつ

つあると感じています。

漁火通りでは早朝から夜まで、たくさんランナーを目にします。歩行者が少なく信号がほとんどない海側の歩道は絶好の練習コースです。夕暮れになると、湯の川温泉の街灯りと函館山の輝き、そして海峡の漁火が華を添え、練習のテンションを一層高めまします。これほど風情溢れるランニングコースは稀有です。ロートルランナーの城に入りつつある私も直ぐに仲間入りしました。初挑戦する今度の函館ハーフマラソン(九月末)では、漁火通りで培った練習成果を発揮したいものです。

過日は、市内船見町の高龍寺を訪れました。函館支店長も経験した故四ツ柳高茂元北電会長墓所があります。着任を報告し「支店管内の電気を守るため力を尽くします」と決意を新たにいたしました。

電力の安定供給は弊社最大の使命であります。函館地方電気工事協同組合の皆様とは地域の電気を守る心強い同志として、今後とも協力関係を維持発展させて頂ければ幸いです。

最後になりますが、組合員皆様のご隆盛、ご発展を心よりご祈念申し上げます。着任挨拶とさせていただきます。

今月の表紙について

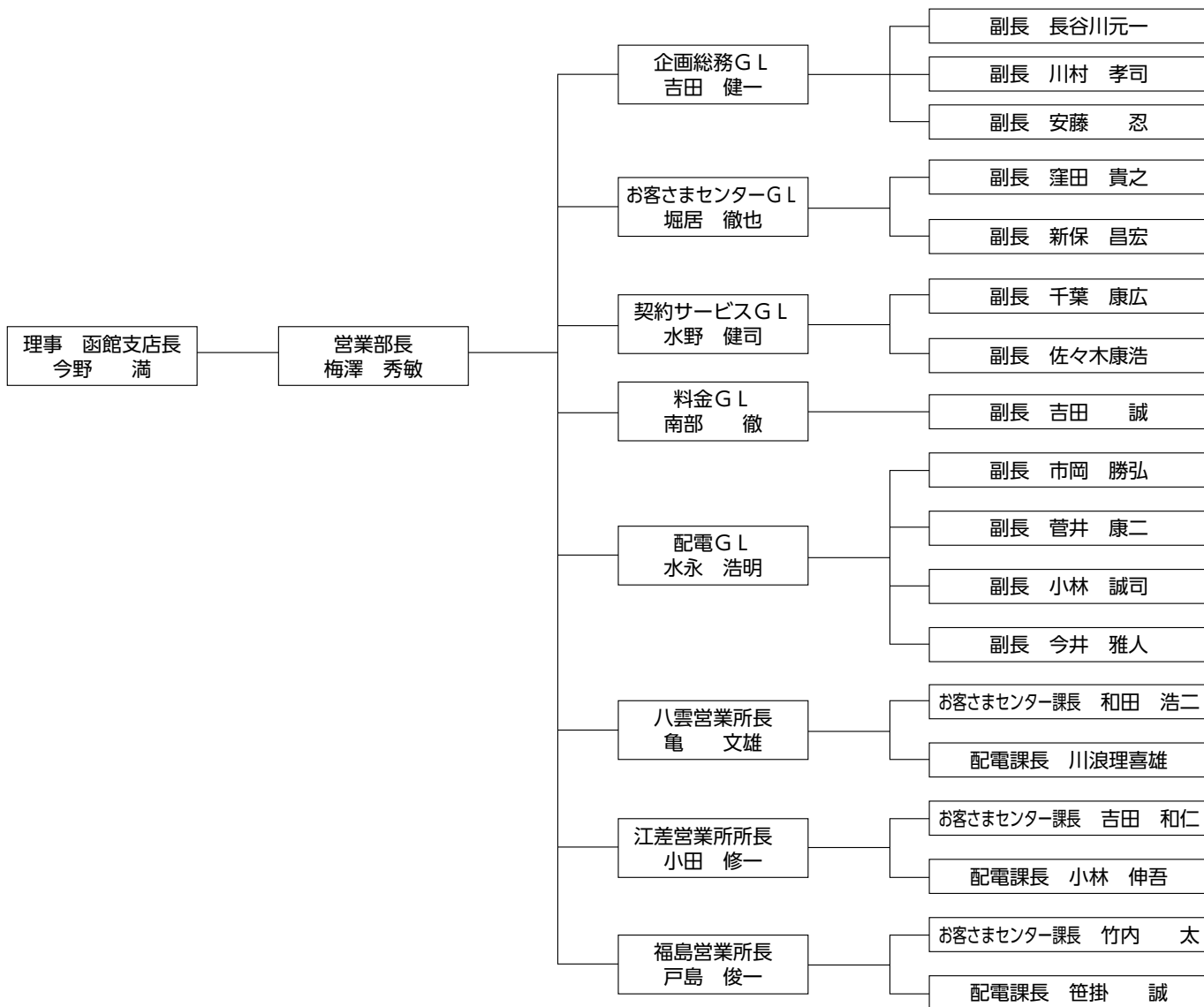
名勝旧岩船氏庭園(香雪園)、見晴公園

明治三十一年に造成された、古く大規模な日本式庭園。園亭、溪流や煉瓦造の温室など庭園空間が広がる。湯の川温泉街の山側にたたずむ見晴公園は、市内有数の豪商だった岩船家が明治二十年代に別荘として造成した庭園「香雪園」を含む約四万三千坪の広さを誇る。

香雪園は昭和二年に、岩船家の好意で市民に無料で開放されるようになり、昭和三〇年に函館市が無償賃借契約を締結、昭和三十四年には市が土地を買収した。平成十三年に、文化財保護法に基づく「名勝」の指定を受け、北海道で唯一国指定文化財庭園となった。

また、秋にはその姿を一変させ、紅葉の名勝地となる。カエデを中心に、庭木は約百五十種にもおよぶ。じっくりと散策すると思わず時間を忘れてしまうほど。平成二十一年からは夜の紅葉をライトアップするイベントが開催されている。

北海道電力株式会社 函館支店 組織図 (平成25年9月1日現在)



編集後記

○開港百五十四周年記念「函館港まつり」は八月一日から五日まで開催された。当組合は今年も「ワッショイはこだて」コンテストのサマーカーニバルの部に参加し、準優勝の栄誉に輝いた。これは参加以来初めての快挙です。港まつりに初参加したのは、昭和六十三年八月三日の「トランスみこし」でした。この年は青函トンネル開通を祝い、「青函トンネル開通博覧会」が開催され、組合も博覧会に合わせて参加を決めたようです。「電線マン音頭」での参加は翌年、平成元年からで、長年続けてきた「電線マン音頭」が二十五年度の節目で審査員の心を掴んだのではないのでしょうか。電線マンの皆様、そして踊り通した参加者の皆様、大変お疲れ様でした。次回は優勝を目指して頑張りましょう。

○港まつりの歴史は「函館市史」によると、昭和十年から始まり、七月一日から三日間実施しました。安政六年六月二日(太陽暦で七月一日)に通商条約によって、函館市は七月一日を開港記念日に制定した。また、昭和九年には大火があり、打撃を受けた市民の士気を引き立て市政の振興をはかるため、盛大に港まつりを行い、行事は初日、西浜岸壁の上屋に来賓、市民千人が集まり記念式典と祝賀会を開き、二日目は函館公園で物故市功労者の慰霊祭を実施した。

また各町会では踊り舞台を設け、輪になって踊りました。また協賛の催しとして、軍艦拝視、花電車運転、花自動車行列、オートバイ行列、小中学生の旗行列、商店街の仮装行列と万灯行列、大名行列、松前神楽、江差鹿舞、商店訪問マラソン、懐古展、煙火大会、街頭放送等で市中は大いに賑わった。とあります。開催日が八月になったのは昭和四十一年からで、七月の天候が、雨が多かったとの理由からだった。(M・T)

発行所 函館地方電気工事協同組合
編集所 総務委員会
住所 函館市日乃出町7番22号
印刷所 龍文堂印刷株式会社



河村電器産業株式会社

北海道支店函館営業所

北海道支店 041-0811 函館市富岡町二丁目三三二番五
TEL (011-38) 441-7436
FAX (011-38) 441-7437

003-0006 札幌市白石区東札幌六条二丁目二二番
札幌三信物流ビル四階
TEL (011) 821-5311
FAX (011) 821-0504



大光電機株式会社

函館事務所

札幌支店 064-0804 札幌市中央区南四条西一丁目二二番
TEL (011) 561-1806
FAX (011) 551-9709

042-0943 函館市乃木町二丁目パレシヤル九七一階
TEL (011-38) 841-6450
FAX (011-38) 841-6785

人とあかりの調和を考える



パナソニック(株)エレクトロニクス

北海道電材営業所 函館電材出張所

041-0808 函館市桔梗二丁目二四一六
TEL (011-38) 471-6333
FAX (011-38) 471-6266

あしたの光で ”ごちようい” を創ります。

東芝ライテック株式会社

北海道電材営業部函館営業所

040-0001 函館市五稜郭町一十四 五稜郭114ビル三階
TEL 511-6002
FAX 511-6024



田中商事株式会社

函館営業所

040-0072 函館市亀田町十三番八号
電話 401-0800
本社・東京 営業所・札幌、札幌東、釧路

情報社会をパフォーマンスする

未来環境を語る・造る

株式会社 工三ヤ

函館営業所

041-0824 函館市西桔梗五八九一四九
電話 481-5751(代表)
本社 札幌・営業所 釧路、苫小牧、小樽



石垣電材株式会社

本社 060-0006 札幌市中央区北六条西一丁目一番地
TEL (011) 210-5222(代)

函館支店 041-0824 函館市西桔梗町五八九番地三一五
TEL (011-38) 491-6211
FAX (011-38) 491-6215

八雲営業所 049-3104 北海道八雲町内浦町二三四一五
TEL (011-37) 631-3269

電設資材総合卸



新光照明株式会社

040-0024 函館市高盛町七番一號
TEL (011-38) 551-0810
FAX (011-38) 551-0810

007-0812 札幌市東区東苗穂十二条三丁目十九番八号
TEL (011) 790-1253(代)
FAX (011) 790-1253